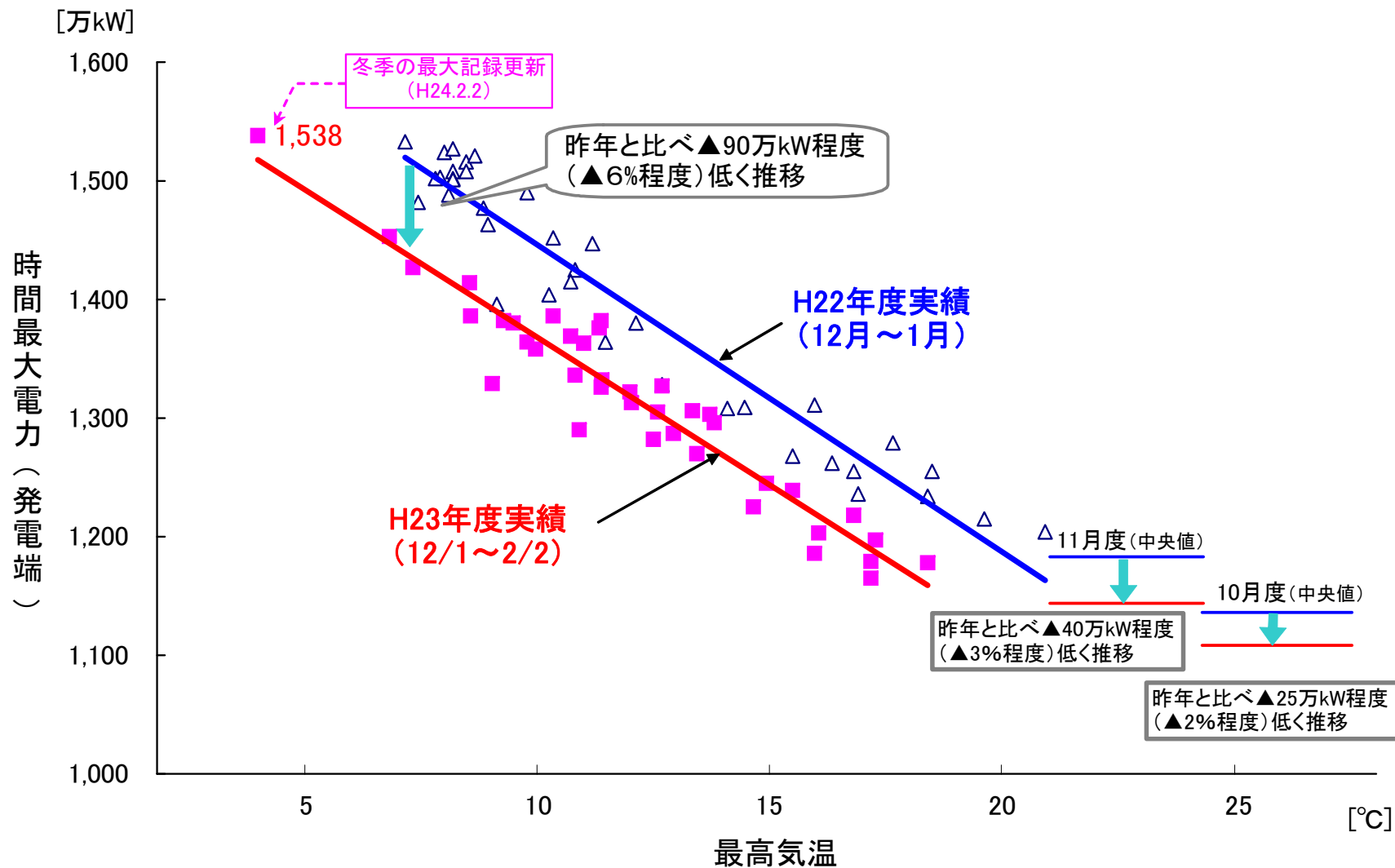


今冬の需給状況について（速報） （電力の安定供給に向けた取組み）

平成24年2月3日
九州電力株式会社

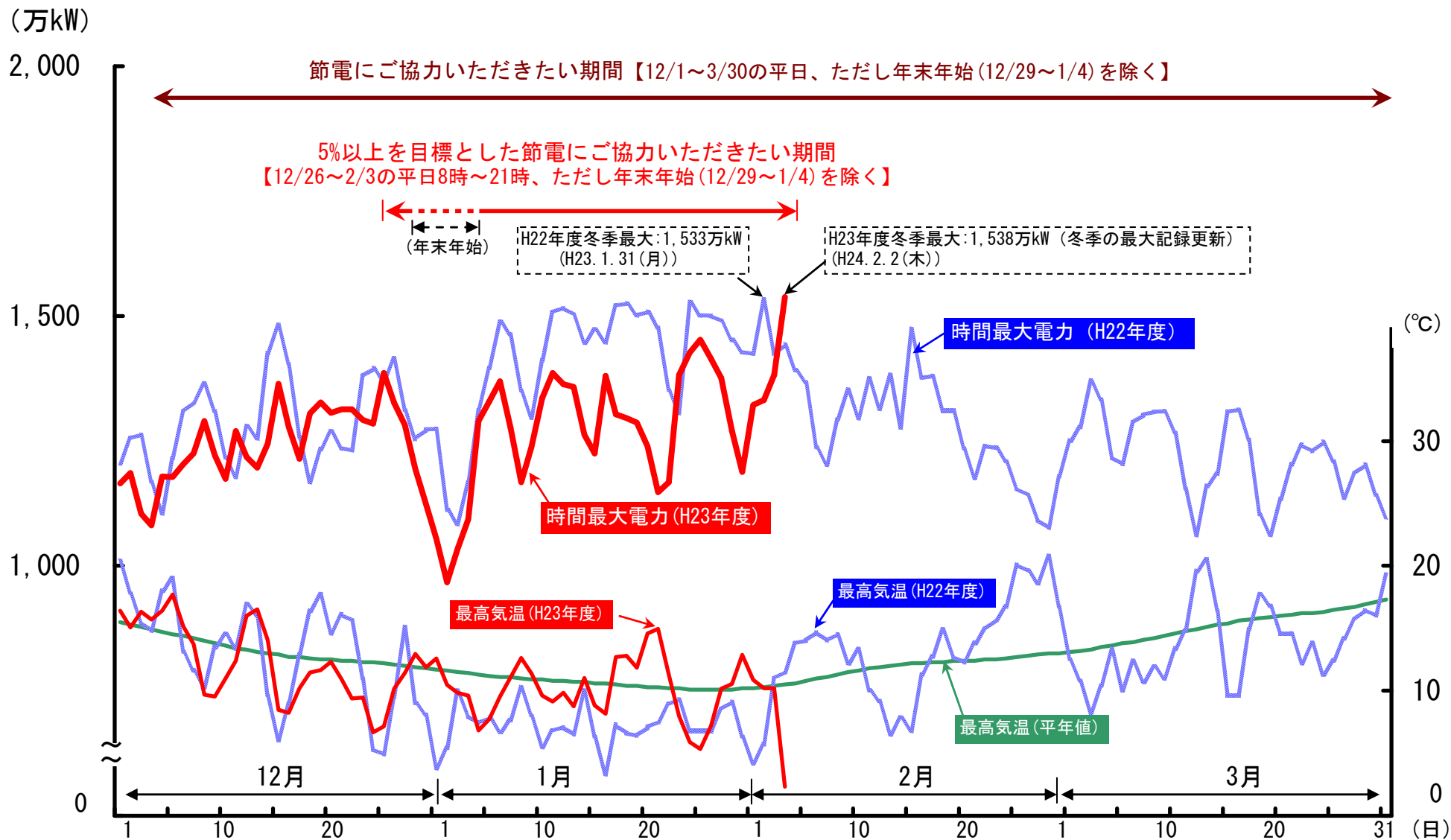
【最大電力実績と最高気温との相関（平日）】

- 気温の影響を除くと、昨年よりも▲90万kW程度（▲6%程度）低く推移。
- これは、ご家庭、企業、自治体など、お客さまが節電に取り組んでいただいたことが主な要因と考えている。



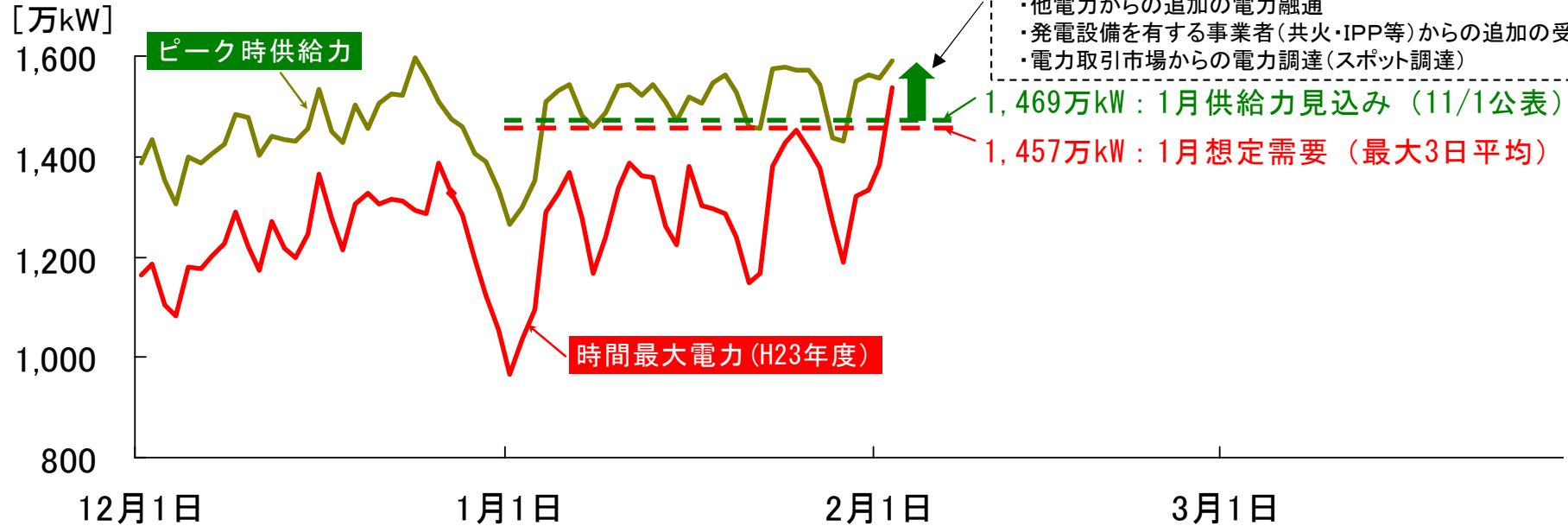
(注) 最高気温は、福岡・熊本・鹿児島の3都市平均

【日々の最大電力実績と最高気温の推移】

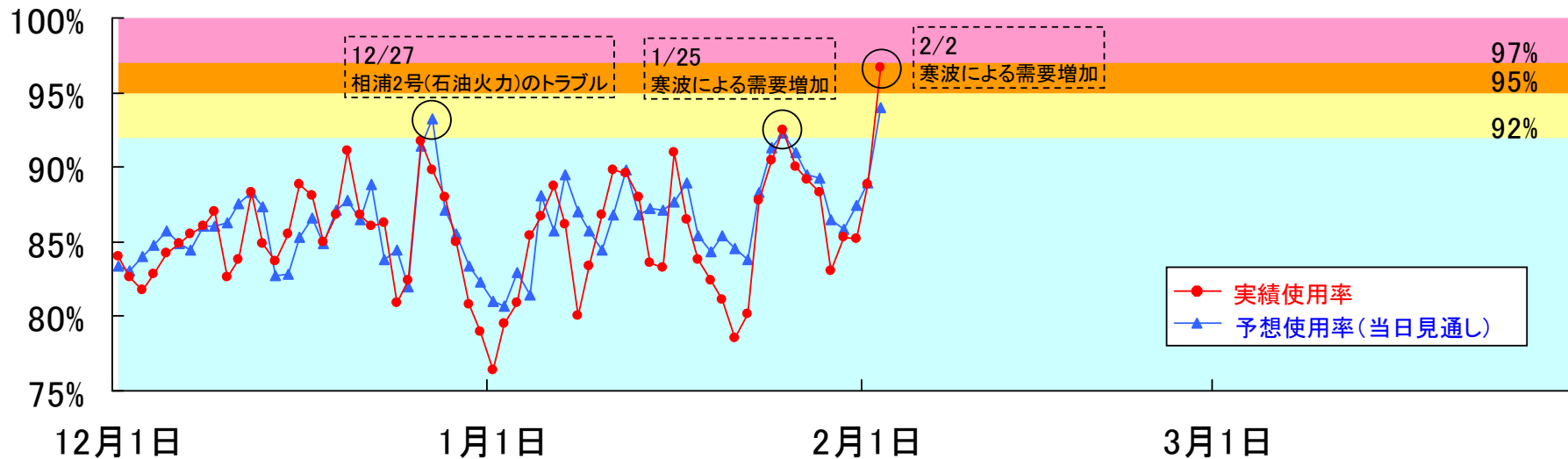


(注)最高気温は、福岡・熊本・鹿児島 の3都市平均

【電力需要と供給力の推移】



【でんき予報の使用率】



○ 最高気温は、前年を大きく下回ったものの、お客さまの節電へのご協力により、今冬の最大電力需要は、昨年並み（前年比+0.3%増）に留まった。

今冬ピーク：平成24年2月2日 1,538万kW（最高気温：2.3℃）
 昨冬ピーク：平成23年1月31日 1,533万kW（最高気温：5.7℃）

計画段階			今冬の需給見通し(11/1公表)		実運用	
	当初計画 (最大3日平均電力)	厳冬であった昨冬並みの最大電力需要が発生した場合			需給実績 (2月2日)	
電力需要	1,457	1,533 (最高気温：5.7℃)			1,538 (最高気温：2.3℃)	
供給力	1,469	1,499	+30*		1,591	
供給予備力 (供給予備率)	12 (0.8%)	▲34 (▲2.2%)			53 (3.5%)	

お客さまの節電への取組み

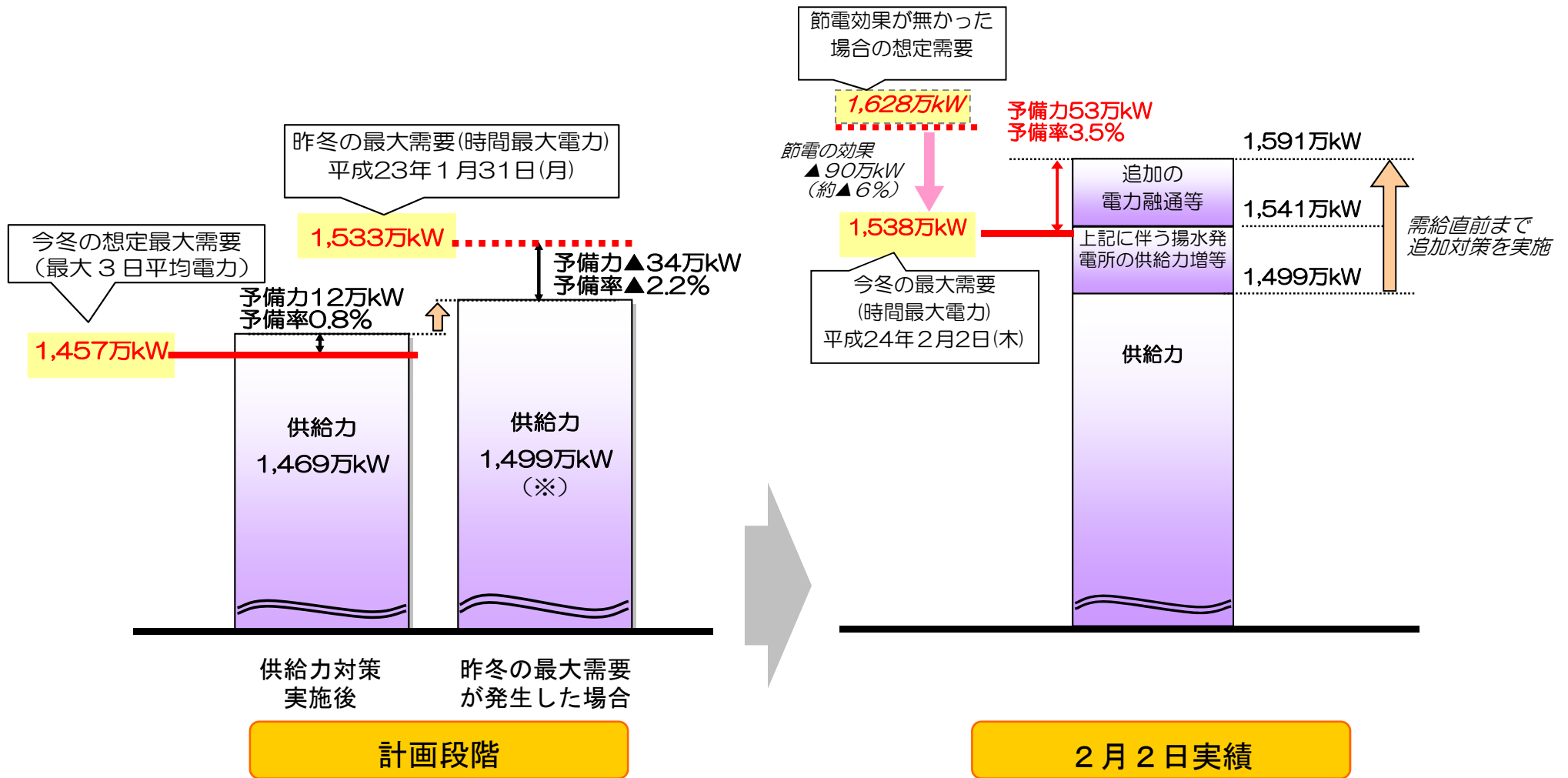
需給直前まで追加の供給力確保対策を実施

計画段階で実施した供給力確保対策

- 火力・水力発電所の補修時期の調整
- 五島内燃力設備の臨時稼働(8万kW)
- 他社からの電力調達
 - ・他電力からの電力融通の受電(夜間帯を中心に受電)
 - ・発電設備を有する事業者(IPP・共同火力、PPS、自家発等)からの受電増
- 火力発電所で使用する燃料(石油、LNG)の追加調達
 - ・今冬(12月～3月)の石油・LNGの調達量(石油換算)：
当初計画133万kl→353万kl(約3倍)

※需要急増時の緊急的対応として、揚水発電所の上池を最大限活用(+17)、火力発電所の出力向上運転(冬季：+13)を織込み

- 計画段階では、調達の可否が不透明であるため、見込めなかったが、需給直前まで追加供給力確保の努力を行い、供給力の上積みを実施。
 - ・他電力からの追加の電力融通
 - ・発電設備を有する事業者(共火・IPP等)からの追加の受電増
 - ・上記に伴う揚水発電所の供給力増等
- これらは、当社及び他社の需給状況等により、常に期待できるとは限らない。



(※) 需要急増への緊急的な対応として、以下の供給対策を追加実施。

- ・揚水発電所の上池を最大限活用 (+17万kW)
- ・火力発電所の出力向上運転 (冬季: +13万kW)

